

D-8

ななまつ (ななつまつ)  
七松



平安時代中期、藤原道長に仕えた源頼信がここを訪れた時、ある子どもからこの地の農民の窮状を訴えたのを感じ、1本の松のもとにあった祠(ほこら)を改装し、あわせて松の株を6本植えさせた、との古事が由来といわれています。

D-8

たちばな  
立花



平安時代後期、摂関家へ柑橘(かんきつ)を納める果樹園が広がり、橘御園と呼ばれたことが由来と言われます。その昔、橘は一番おいしいお菓子(当時は果実)として重宝。尼崎にお菓子の工場が多いのは、この橘が由来かもしれません。

E-8

ななまつはちまんしんしゃ  
七松八幡神社



織田信長と荒木村重の争いで亡くなられた武士や家族六百二十餘人を弔う慰霊碑が境内に残っています。夏祭りには多くの人でにぎわいます。

【厄除け】

C-7

みずどう  
水堂



弥生時代から人々が営み、4世紀の前方後円墳「水堂古墳」の一部が残ります。当時は海近く葦が茂る湿地で、地名の由来は「みずど」もしくは「みど」(水処)とも言われます。古墳跡は神社内「古墳保存館」で見学可。(社務所へ申し出要)

C-7

みずどうのちまんしんしゃ  
水堂須佐男神社



古墳と万葉の花の宮と称され、神社内の古墳や拝殿に万葉の草花が描かれた天井絵、保護樹林の古木が当時のロマンを伝えます。地域交流が盛んで、夏・秋にはお祭りが、7月には立花商店街の茅ノ輪くぐりが行われます。

【学問成就】【縁結び】

E-8

さんたんだ  
三反田



中世は生島荘という荘園で、1605年の摂津国絵図に「生嶋村三段田」とあります。昔の土地区画制度(条里制)のなごりと思われる。尊名は不明ですが、1400年頃のものと思われる市内最古・最大の五輪卒塔婆(供養塔)があります。

C-9

おおしましんしゃ  
大島神社



平安時代以来、荘園「大島荘」の守り神として地域の歴史を見守ってきました。西向きの社殿は珍しく、武庫川の方を向いていることから、川の氾濫を防ぐ「西向の鎮守さま」とも呼ばれるそうです。

【厄除開運】【勝運】

F-8

おはまはちまんしんしゃ  
尾浜八幡神社



尾浜の歴史とともに古く織田信長と荒木村重との戦火の地だったと伝えられます。神社内には、「名月姫」の塔墓があり、中秋の日に名月祭、観月の夕べが地域の手で行われます。

【健康長寿】【厄除け】

G-8

おはま  
尾浜



荘園の生島荘の中に「浜郷」という郷があり、江戸時代の文献(正保郷帳)に「尾浜」が登場。この地には、平安時代末期、中秋の名月に生まれた娘が14歳の時にさらわれ、探し歩く父が兵庫で人柱になりそうところ娘と再会し、身代わりになった平清盛の家に助けられるという「名月姫」の伝説があります。

C-10

ことつらしんしゃ  
琴浦神社



この地に、光源氏のモデルと思われる源融(みなもとのとおる)にまつわる伝説があります。今の宮城県塩釜の風景を愛した源融が帰京後に大庭園(現:京都市下京区の渉成園)を創築。塩釜を忠実に再現するため、この庭に琴浦神社近くから汲んだ海水を毎月30石(5.4トン)を運び海の魚貝を放ったと、伝えられます。

## お立ち寄り



立花商店街



D-7

駅北側商店街内「中田屋」の尼崎情景を刻印した瓦せんべいはお土産にぴったり。  
06-6429-1082

さいかえん  
菓匠「彩花苑」



G-8

尾浜町に本店がある菓匠。尾浜や名月姫と名付けられた焼菓子や羊羹・近松物語も。  
06-6428-5200